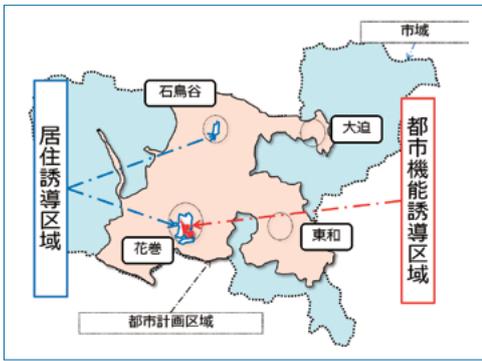


## 元気なまち花巻の復活を目指して

### はじめに

花巻市は岩手県のほぼ中央に位置し、西に奥羽山脈、東には北上高地の山並みが連なる肥沃な北上平野に位置します。北東部には早池峰山があり、国立公園であるほか高山植物の宝庫として知られ、ハヤチネウスユキソウなどでしか見ることのできない花々



花巻市立地適正化計画の概要

が、全国から訪れる登山客を魅了しています。また宮沢賢治や萬鉄五郎などの出身地として、新渡戸稲造や高村光太郎ゆかりの地として知

られるとともに、ユネスコ無形文化遺産に登録されている早池峰神楽や鹿踊などの郷土芸能が多く伝えられています。スポーツの分野では、大谷翔平選手、菊池雄星選手をはじめとして、市内出身者や、市内の高校・大学で活躍した、市にゆかりのある11人のプロ野球選手が海外や国内で活躍しています。

また、2020年東京オリンピックのボート競技日本代表チームの最終合宿地に決定している本市東和町の田瀬湖ボート場において、本年も日本代表チームが6月と8月に強化合宿を行いました。

### 市街地の再生

2016年6月に「花巻市立地適正化計画」を全国で3番目に策定しました。合併前の旧1市3町

のそれぞれの中心地における医療・生活・商業のサービス機能を維持するために「コンパクト+ネットワーク」を構築していこうとする計画ですが、その中で旧市の中心部を「都市機能誘導区域」に指定し、「地域医療の中核となる総合花巻病院の移転支援」「まちなかに寛ぎと交流を生み出す広場の



当日予約も可能な予約乗合バス

整備」、市内の空き店舗建物などを解体し跡地に建設する「東日本大震災被災者を対象とした災害公営住宅の整備」「リノベーションまちづくり事業」「新花巻図書館の移転新築」「JR花巻駅の東西自由通路設置の可能性調査」など、多彩な事業を推進しています。本年3月30日には国土交通省と内閣府(地方創生推進事務局)が連携して推進する「地方再生コンパクトシティ」の全国32のモデル都市の一つとして選定されました。また、バス路線が縮小撤退していることから、2017年2月以降、旧1市3町それぞれの中心部の医療・買い物などの生活サービス拠点と周辺部の自宅を結ぶ予約乗合交通を導入しています。これは、予約をすることにより、自宅近くの公道で乗降車できる乗合交通を提供するものであり、高齢者など市民の方々の交通手段を確保するものとして、今後、順次、市全域をカバーしていくこととしています。

## 仕事とにぎわいのある まちづくり

高卒の就職者の大部分は市内もしくは周辺市町で就職していますが、新規学卒者の確保が本市の喫緊の課題となっていることから、県内外の大学生などを対象に市内事業所での中・長期のインターンシップを実施しています。本年度新たに市内事業所までのインターンシップ交通費助成に加え、市内事業所と大学生などのマッチングを促進するための事業所説明会



幻想的な作品世界をつくり出す「童話村の森ライトアップ」

を開催し、地元定着を推し進めています。

また、2016年11月29日に内閣府の構造改革特別区域計画「花巻クラフトワイン・シードル特区」の認定を受け、市内で生産された果実を原料とした酒類の製造が小規模な施設でも可能となりました。市内の社会福祉法人が実施主体となる「特区制度を活用した地域貢献型ワイナリープロジェクト」が、日本財団が全国で実施する障がい者就労支援プロジェクト「はたらくNIPPON計画」のモデル事業として採択されたことにより、特区を活用した市内初のワイナリーが建設される予定です。

宮沢賢治童話村では、本年8月25日、26日の両日、「イーハトーブフェスティバル2018」を開催し、音楽や映画など第一線で活躍するゲストを迎え、スペシャルトークやライブ、映画の上映を行いました。併せて、本年度3年目となる「童話村の森ライトアップ2018」は、エリアをさらに拡充し、開催しています。ステンドグラス風のオブジェ70個を設置し、偏光フィルターが映し出す光による、幻想的な賢治の作品世界

をつくり出しています。

## 子育て支援の充実

本市では子育て支援策として、本年10月1日から幼児・小学生に加えて、中学生・高校生などについても医療費助成を開始します。また待機児童を解消するため、公立では県内初となる店舗跡を利用

## プロフィール

- ◆ 面積 908.39 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 9万6378人
- ◆ 世帯数 3万7300世帯

〔将来都市像〕市民パワーをひとつに歴史と文化で拓く 笑顔の花咲く温か都市 イーハトーブはなまき

〔まちの特徴〕岩手県内唯一のいわて花巻空港があり、東北新幹線新花巻駅や東北自動車道などの高速交通網が整備されるなど、北東北の高速交通網の結節点という恵まれた拠点性を有しているまち

〔市町村合併〕2006年1月1日、



花巻市長  
上田東一



花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町が対等合併

〔特産品〕ワイン、日本酒、わんこそば、生レーズン、花巻ブルー（鉢花・切花）、花巻人形、花巻傘

〔観光〕花巻温泉郷、早池峰山、宮沢賢治記念館、萬鉄五郎記念美術館、早池峰神楽、高村光太郎記念館

〔イベント〕花巻まつり、日本ワインフェスティバル花巻大迫、元祖わんこそば全日本大会、毘沙門まつり・全国泣き相撲大会

した小規模保育園の整備を進めたほか、3歳未満児の受け入れ態勢を拡充しています。さらに不足する保育士の確保策として、復職を希望する保育士に対する復職支援金の貸し付けや保育料の減免・補助などを継続するとともに、本年度からは、家賃補助を行い、保育士の確保に努めています。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 緑にかこまれた健康な文化都市の実現に向けて 市民一人ひとりが輝くまちを目標として

緑豊かな住宅都市で  
ありながら都心への  
アクセスも便利なまち

北本市は、埼玉県の中央部に位置し、首都圏45km圏内で、JR高崎線が東京駅や新宿駅などへ直接乗り入れるなど、都心まで電車で

45分という好立地にあります。加えて、首都圏中央連絡自動車道の桶川北本ICの整備も進むなど、交通の利便性が高いまちです。



北本まつり（宵まつり）で繰り広げられる勇壮な「北本ねぶた」

地域は、安定した地質の大宮台地上にあり、ほぼ平坦な居住に適した地形で、JR高崎

線沿線には約1.3kmにわたって

中央緑地があり、東西に市街地、その外側には緑豊かな田園地帯が広がっています。西側には荒川が流れ、その周辺には湧水や雑木林などの武蔵野の風景を見ることができ、自然に親しめる公園や緑地も多く、市内外から多くの人々が訪れる場となっています。

また、樹齢800年を超える「日本五大桜」の一つである国指定天然記念物「石戸蒲ザクラ」、室町時代中ごろに築城されたと考えられている「石戸城跡」など、先人たちが築いてきた歴史や文化が多く残されています。

### 子育て支援の充実

### 「めざせ日本一、

### 子育て応援都市」宣言

2011年に「めざせ日本一、



せせらぎで子どもたちが遊ぶ光景が見られる「北本市子供公園」

育て応援都市」を宣言しました。赤ちゃんが生まれたばかりのご家庭も、働きながら子育てしているご家庭も安心して育児ができるように「北本版ネウボラ」としてさまざまなサポートを行っています。

本年7月には、市役所内に妊娠、出産、子育て期の総合相談窓口として、「子育て世代包括支援セン

ター」を開設しました。専任の「母子保健コーディネーター」によるサービスの案内のほか、産後ケア（デイサービス型）の実施などにより、お母さんの心身のケアや授乳の指導などを行っています。

経済的なサポートとして、早期不妊検査費・不育症検査費などの助成、多子出産祝金・多子世帯応援給付金の支給、0歳児おむつ無料化などを行っています。また、本年10月から「子ども医療費」の助成を18歳の年度末まで拡大します。

さらに、2012年度から年度当初の保育所の待機児童数は「0」を更新中で、地域子育て支援拠点を5カ所設置するなど、充実した育児環境を整えています。その一つである市役所と併設の児童館・子ども図書館には、たくさん遊具や絵本などをそろえており、市内外からも利用者が訪れています。遊戯室では乳幼児と保護者が遊びを通して触れ合う事業なども行っており、子育て世代にとって貴重な情報交換の場になってい

ます。

今後子どもたちの健やかな成長を願い、明るい未来のために子育て世帯にやさしいまちづくりを進めてまいります。

## 地域資源を生かした「稼ぐまちづくり」

地域資源である人、施設、緑、食材などに付加価値を付け、回遊性を高めることにより「稼ぐまちづくり」を進めています。

2017年、「企業誘致の促進」「中心市街地活性化」「交流人口の増加」に資する取り組みとして、中心市街地である北本駅東口駅前に宿泊施設の誘致を決定しました。ラグビーワールドカップが日本で開催される2019年1月にオープンする予定です。



地元工商业者と協力しながら、周辺飲食店のPRや地場物産の販売を行

イケメン野菜を使用したイケメンサラダ

ました。また、「北本トマト」を使用した商品の開発、プラムや梨をはじめとした旬の果実の生産など、地域が一体となったまちおこしも積極的に取り組んでいます。市民の手で開発された「北本トマトカレー」

うなど、「稼ぐまちづくり」をより一層図ることができると期待しています。

また、本年、北本市野外活動センターがエアコン付きの都市型バンガローと大屋根を新設し、雨の日でも利用できる天候に左右されない快適な施設にリニューアルしました。

都心に近く手軽にバーベキューができるので、子どもから大人まで多くの人に楽しんでもらえます。今後も地域資源を最大に生かしながら、「稼ぐまちづくり」につなげてまいります。

## 食のブランド化

本市では、「食のブランド化」に力を入れ、地元の農業青年会議所のメンバーが生産した旬の北本野菜「イケメン野菜」と地元人気飲食店とのコラボレーションを行いました。また、「北本トマト」を使

は、2014年に「全国ご当地カレールーグランプリ」(よこすかカレーフェスティバル)で優勝するなど全国的にも知名度が向上しています。ぜひ、多くの皆さまに召し上がっていただきたいと思えます。

## 活力と魅力にあふれた未来に向け

今後も、社会の担い手となる子どもたちが健やかに育つことがで

## プロフィール

- ◆ 面積 19・82km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 6万6872人
- ◆ 世帯数 2万8999世帯

〔将来都市像〕緑にかこまれた健康な文化都市 ～市民一人ひとりが輝くまち 北本～

〔まちの特徴〕埼玉県中部に位置し、都心にもアクセス便利、自然豊かでパランスの良いコンパクトシティ

〔特産品〕トマト、トマト大福、北本トマトカレー、そば、プラム、梨



北本市長 現王園孝昭



〔観光〕日本五大桜の一つ「石戸蒲サクラ」、埼玉県自然観察公園、北本市野外活動センター、地場物産館 桜園屋、北本市子供公園

〔イベント〕さくらまつり(4月)、みどりのフェスティバル(4月)、北本まつり(宵まつり・産業まつり)(11月)、さくまつり(11月)

きる環境を整え、子どもの成長を支える施策をはじめとして、地域経済活性化につながる「稼ぐまちづくり」事業にも全力で取り組みます。

そして、本市の持つポテンシャルを最大限に発揮し、まちの活力、魅力アップを図り、すべての世代の人々がいきいきと輝けるまち「北本」を市民の皆さまとともに実現していきます。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 31万人元気都市四日市を目指して

**歴史や文化、  
伝統にはぐくまれた、  
魅力と活力のある産業都市**

四日市市は、全国で45番目の市として1897年(明治30年)に市制施行し、2017年8月1日に120周年を迎えました。西に鈴鹿山脈、東に伊勢湾を望む素晴らしい自然に恵まれ、古くから東



四日市市役所前の「中央通り」

海道の本場として栄えてきました。室町時代には定期市が開かれるようになり、これが「四日市」の名の由来といわれています。近代化に伴い、四日市港の発展、鉄道の整備など

が進み、現在は公害を教訓に環境技術を蓄積してきた石油化学コンビナートや、内陸部の半導体製造工場などをはじめとした、全国屈指の産業集積が本市の活力の源になっています。

### 子どもと子育てに やさしいまち

本市は、妊娠から出産、乳幼児、青少年に至るまで、途切れない施策を展開し、子育て世代が安心して子どもを産み育てることができると目指しています。

妊娠時はパパママ教室や妊婦訪問指導、出産後は乳児家庭全戸を訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」の実施や、育児や体調などに不安のある妊婦を把握し、妊娠中から継続した相談支援を行うなど、産前・産後のサポートを充実

させています。

子育て家庭に対する支援として、育児相談室や電話相談、子育てコンシェルジュを設けているほか、スマートフォン向けの子育て支援アプリ「よかプリコ」の配信、子育てガイドブックの配布など、保護者の立場に立って、多様な子育て支援情報やサービスを分かりやすく伝えるようにしています。

また、第2子以降の子を出産したお母さんの精神的・肉体的な負担の軽減を図る目的で、産後6カ月までの間に一時保育を無料で利用できるレスパイトケア事業を実施しています。

男性の子育てへの参画意識を高めるため、2010年度から実施している父親の子育てに関する養成講座では、講座修了者を「父親の子育てマイスター」と認定して

おり、市が主催する事業や勤務先で、男性の子育て意識の醸成に大きな力を発揮してくれています。さらには未就学児にかかる子ども医療費の窓口負担無料化や、長子の年齢にかかわらず第3子以降の保育料を無償化にするなど、子ども・子育て支援のより一層の充実を図ることで、「子どもと子育てにやさしいまち」を目指しています。

### スポーツによって活気づく 元気なまちづくり

また、本市は本年の高校総体や



本年5月にオープンした「霞ヶ浦テニスコート」

2021年の「三重とこわか国体」の開催を契機に、スポーツ環境の充実を図ることで、スポーツによって活気づく元気なまちづくりを目指し、スポーツ施設の整備を進めています。

本年5月にオープンした霞ヶ浦テニスコートは16面のハードコートで、全米オープンや東京オリンピックの会場と同じ素材を使用し、全国有数のコートとなっています。近隣のコートを含め、圏内に計42面のコートが集積して、大規模な大会にも対応できる環境が整い、高校総体では熱戦が繰り広げられました。

本年7月に全面オープンした中央緑地フットボール場は、日本サッカー協会公認の人工芝のフィールド3面で、隣接する天然芝の陸上競技場も加えると4面のフィールドでサッカーの試合が可能となりました。こちらも高校総体で男子サッカー競技が行われたところですが。

国体の開催に向けてはこれらの施設のほか、新体育館と新野球場の整備も進めており、スポーツ環境のさらなる充実を図っていきます。

## 日本有数の「工場夜景」の聖地 魅力あふれるまちへ

近年、観光に対する旅行者ニーズの多様化により、産業観光が注目されるようになりました。また、SNSの普及によりフォトジェニックなスポットは観光において欠かせません。このような時代背景の中、もともと産業都市として発展してきた本市が、「コンビナートの夜景」により観光面においても注目されるようになりました。

2010年から官民一体となって「工場夜景」事業に取り組んできた結果、「コンビナート夜景クルー



四日市港ポートビルからのコンビナート夜景

ズ」は、乗船者数が累計3万人を超え、また、コンビナート群が一望できる四日市港ポートビルの展望展示室には、夜間開館時ともなると、全国から工場夜景鑑賞家の方々が訪れるようになりました。市制施行120周年を迎えた2017年度には、工場夜景に関する取り組みを行う都市が本市に集まり、「第8回全国工場夜景サミットin四日市」を開催いたしま

## プロフィール

- ◆ 面積 206.44 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 31万2279人
- ◆ 世帯数 13万7959世帯

〔将来都市像〕子育てするなら四日市、教育するなら四日市

〔まちの特徴〕自然と歴史の上に近代産業が開花し、世界に広がる港とともに、明日に向かって躍進する都市

〔市町村合併〕平成17年2月、楠町と合併



四日市市長  
森 智広



〔特産品〕萬古焼、大矢知そうめん、日永うちわ、かぶせ茶

〔観光〕工場夜景クルーズ、世界最多の1億4000万個以上の星を投射する「四日市市立博物館・プラネタリウム」

〔イベント〕大四日市まつり、四日市花火大会、全国ファミリー音楽コンクールinよっかいち、四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル

した。今後も関係各都市が連携し、全国へ向けて工場夜景の魅力を広く発信し、盛り上げていきたいと考えています。本市ではこれらをはじめさまざまな施策を展開し、競争力や魅力をより高めることで「選ばれる」まちを目指します。「31万人元気都市四日市」の実現に向けて、本市はこれからも発展を続けてまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

# わが

## 「元気・快適・ときめき 進化するまち笠岡」の実現に向けて

### 時代とともに歩むまち

笠岡の地名は、古代の笠臣氏の勢力範囲であったことによるといわれています。古くから備中地方南部の交通の要衝であり、港町、門前町として栄えてきました。

江戸時代には幕府の直轄領とな



現在は笠岡小学校正門として使われる、かつての小田県庁門

り、1700年(元禄13年)には

代官所が設けられ、以後幕末まで

42代168年の代官支配が行われ

ました。これらの代官の中には、

西日本一帯の大飢饉において支配

地から1人の餓死者も出さなかつ

たと伝えられている「いも代官」

として有名な井戸平左衛門や、庶

民のための教諭所「敬業館」を設

立して領民教育に努めた早川八郎

左衛門がいます。  
1872年(明治5年)から  
1875年(明治8年)までは、  
小田県の県庁が笠岡に置かれま  
した。  
その後、1891年(明治24年)  
の町制施行により笠岡町が誕生  
し、同年には山陽線も開通して、  
笠岡町は海陸交通の結節点とな  
り、備中地方の産業・文化の要衝  
として、ますます発展しました。

### 「家族の絆」を 取り戻すために

2014年5月、民間の研究機  
関である日本創成会議・人口減少  
問題検討分科会は、全国の自治体  
の約半分が「消滅可能性都市」と  
なることを公表し、笠岡市もこの  
中に含まれてしまいました。

笠岡市内には専門学校も大学も  
ありません。働く場所も少ないで  
す。地場産業をしっかりとサポー  
トし、企業を誘致することにより  
働く場所を増やし、子どもたちが  
孫たちに笠岡に戻って来てもら  
い、親子2世代、3世代で一緒に  
暮らしてもらいたいと常に考えて  
います。市のどんな施策も親子の  
絆きずなにはかきません。

本市には、半径30km(車で1時  
間圏内)の範囲に、東の倉敷市、

西の広島県福山市の圏域を含め、  
人口100万人都市圏の中心に位  
置している地理的優位性がありま  
す。本市が「持続可能都市」とし  
て、市民がずっと住み続けたいと  
思うまちとなるためには、この地  
理的優位性を最大限生かした産業  
振興、教育・子育て環境の充実な  
ど、定住促進・人口減少対策に資  
する取り組みを進め、現在マイナ  
スの状況にある人口の社会動態を  
回復して、安定した人口ピラミッ  
ドを形成しなければなりません。

その中で、一番重要な要素は  
「地域経済の活性化」です。

本市では、現在、倉敷市と福山  
市を結ぶ国道2号バイパスが整備  
中であり、倉敷―笠岡間は信号の  
ない道路でつながります。また、  
高速道路の市内篠坂パーキングエ  
リアへのスマートインターチェン  
ジ設置にも取り組むなど、交通の  
利便性向上が見込まれています。  
企業誘致は、県営笠岡港工業用地  
に2016年度から2017年度  
の2年間で、5社が立地協定を行

い、4社が操業開始しています。笠岡湾干拓地内でもアジア最大規模の栽培面積を誇る次世代園芸施設が2019年春には稼働予定と、企業誘致は着実に進んでいます。交通の利便性向上により企業誘致もさらに促進され、さらなる雇用の創出が見込まれます。また、地場産業と誘致した企業により、また新しい産業と雇用が生まれる産業連環につなげることができればと考えています。「養鶏・畜産農家の施設整備や省力化機械の導入の補助」により畜産農家の国内最大規模の搾乳機（ロータリーパーラー）導入を支援するなど、地場産業の振興を図るとともに、「企業コーデイネーターの増員」により営業力を強化して企業誘致を進めています。さらに、交通の利便性向上と雇用拡大により、周辺への住宅団地の開発、そして社会動態がプラスに転じることも期待されます。

地域経済の活性化と併せて、「教育・子育て環境の充実」にも重点的に取り組んでいます。保育料の「市県民税非課税世帯の第2子以降無料化」「課税世帯の減免拡充」、さらには「認定こども園」の

2020年4月開園に向けた事業も進めています。

さらに、本年度から18歳までの入院医療費を無料化し、また、妊娠中、子育て中のお母さんが安心して子育てができるよう「子育て世代包括支援センター」も本年度中に開設予定です。スマートフォンで検診や予防接種の記録を管理でき、子育て支援情報を受け取ることができる「母子健康手帳アプリ」も導入します。

教育については「教員業務のアシスタント配置」「コンピュータ・情報教育支援員の増員」、また特別支援学級には「タブレット型コンピュータの導入」など、教育環境の充実も図っています。



国内最大規模の搾乳機導入を支援

## 将来ビジョンの実現に向けて

交通の利便性向上が見込まれ、企業誘致が進んでいる今、まちづくりへの投資の最大のチャンスです。財源の拡大にも努め、将来ビジョンの「元氣・快適・ときめき」を進化するまち笠岡の実現に向け、スピード感を持って事業を実施し、結果にこだわり、成果を上げていきます。

## プロフィール

- ◆ 面積 136.24 km<sup>2</sup>
- ◆ 人口 4万9021人
- ◆ 世帯数 2万2327世帯

〔将来都市像〕元氣・快適・ときめき進化するまち笠岡

〔まちの特徴〕豊かな地域資源を有し、人口100万人都市圏の中心に位置するまち

〔特産品〕干しいちじく、吉備焼、バラ石材、カプトガニまんじゅう、いちじく、牛肉、灰干し、卵、のり、北木石、



笠岡市長  
小林嘉文



桜鯛の浜焼  
〔観光〕古城山、木山捷平の生家、小田県庁跡、竹喬美術館、カプトガニ博物館、太陽の広場、郷土館、道の駅「笠岡ベイファーム」、六島灯台、井笠鉄道記念館  
〔イベント〕真鍋島の走り神輿、ヒツタカ、おしぐらんご、ポピーフェスティバル、笠岡よっちゃんれの夜、笠岡港まつり花火大会、白石踊、大島の傘踊り、かさおかポルターフェスティバル、北木島の流し雛



2019年春稼働予定の次世代園芸施設

※面積は国土院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。